

研究開発

約半世紀前、ダスキンは水を使わずホコリを取る化学ぞうきんによって、お掃除の常識を変えました。ダストコントロール事業から始まったダスキンは、「キレイを科学する」を大きなテーマとして掲げ、お客様のお困りごとを改善することを第一に、商品・サービスの開発を続けています。

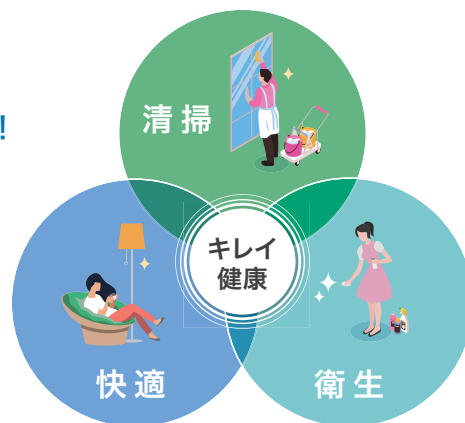
ダスキンの研究開発方針

ダスキンは清掃・衛生関連分野において、生活者を第一に捉え、研究開発を行うにあたり、以下の5項目を実践し、社会に対して健康で快適な暮らしを提供することを約束します。

- ① 常に社会・家庭の実態を把握し、お客様の困りごとを分析して研究開発の優先度を決定します。
- ② 新規性、進歩性、独自性に富んだ技術や商品開発を行います。
- ③ 社会・人・自然に対して、安全・安心が担保できる商品を開発します。
- ④ 環境保全に寄与し、省資源化が可能な原材料を使用した商品を開発します。
- ⑤ 市場に導入された商品は、常に改良を図り、消費者に最適な機能とご満足をお届けします。

研究ビジョン

暮らしにキレイと安心を。
今と未来の暮らしを語ろう！



研究領域

「清掃」「衛生」「快適」の技術を創造し、キレイ・健康NO.1へ。
お掃除の会社として知られるダスキンですが、これからは、衛生と快適領域へも研究の幅を広げ、キレイを通してお客様の健康を創造してまいります。

開発研究所について

現在の日本では、単身世帯の増加などにより、暮らしを取り巻く環境も大きく様変わりしてきています。企業においては、労働力人口の減少や働き方改革によって勤務形態が変化し、職場の衛生環境維持に十分な取り組みができないといった状況が散見されます。また、アレルギー疾患の増加など、生活様式・社会環境の変化が人体に対して影響を及ぼす場面も増えています。

更に、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、日常生活にマスクや除菌といった感染症対策が組み込まれ、生活者はリモートワークにより在宅時間が増加するなど、生活や働き方が大きく変化しました。また、事業者は事業を継続する上での衛生対策も必要になり、衛生ニーズが非常に高まっています。今後はそのような生活者、事業者が抱える「お困りごと」の多様化、衛生環境に対する意識向上への対応が急務と考えています。

ダスキン開発研究所は、現状と来たるべき未来を見据え、安全・安心はもちろんのこと、社会に快適で健康的な暮らしをお届けすることを目指し、「生活調律業」に向けた事業活動に寄与する研究に取り組んでいきます。

研究開発費の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
研究開発費(百万円)	662	643	682	561	637

衛生関連分野の研究

1. ホコリの科学とダストコントロール技術

ダスキンの歴史はダストコントロールの歴史。住まいをはじめとする空間内に存在するホコリを効率的にキャッチし、その場から除去する方法を追い求める研究を繰り返してきました。その背景となるのが定期的に行っている「ホコリ調査」。ダスキン開発研究所では、一般家庭にサンプルとしてご協力いただき、室内のホコリの成分や性質、分布と生活習慣との関わりなどを中心に調査を進めています。



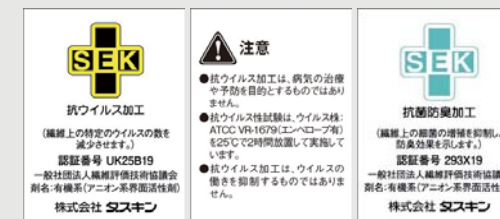
2. モップのダストコントロール機能/吸着剤の研究

吸着剤には、モップに付着したハウスダストに含まれる細菌やカビ、アレル物質(ダニのフン・花粉)、ウイルスなどによる衛生リスクを低減する技術が込められています。

ダスト捕集性能を高めるだけでなく、清潔を維持し気持ちよくご利用いただける技術開発にも積極的に取り組んでいます。

家庭用モップ※1がダストコントロール業界で初めて「抗ウイルス加工※2」と「抗菌防臭加工」のSEK※3マークを取得

- ※1 一部対象外の商品があります。
- ※2 この加工は病気の治療や予防を目的としたものではなく、ウイルスの働きを抑制するものではありません。
- ※3 SEKマークとは、一般社団法人 繊維評価技術協議会が繊維製品の機能性・耐久性・安全性を認証するマークです。
(SEKマークの定義/「S: 清潔」「E: 衛生」「K: 快適」)



3. マットのダストコントロール機能/吸着剤の研究

マットに加工された油系吸着剤にはモップ用吸着剤と同様に、単にホコリを取り、舞い上がりを防止するだけではなく、細菌やカビの増殖を抑えるという働きを持たせています。この機能によって、マットは汚れても細菌やカビなどによる衛生リスクを抑えることができます。

4. 衛生関連商品と除菌・抗菌

モップやマット以外のクリーンサービス事業の商品に関しても、衛生環境の維持、リスクの低減という観点から除菌・抗菌機能の向上が求められます。洗剤を例に見てみると、界面活性剤の働きによって汚れを洗い流す際に、汚れに含まれている菌を減らす「除菌効果」を持つ薬剤が働きます。そして、いったんキレイにした対象物で再び菌が増殖しにくくなるよう、「抗菌効果」によって衛生リスクの低減を図ります。洗浄する対象によって配合を考え、より大きな効果を発揮させるため、さまざまな試行錯誤を繰り返し、選ばれたものだけをお手元に届けています。



TuZuKu 持続除菌洗浄剤 (200mL)

ダスキンの研究開発の詳細は、ホームページで公開しています。

<https://www.duskin.co.jp/rd/>